

CyberCrime Control Project

平成 26 年 4 月

広島県警察本部
サイバー犯罪対策課
082-228-0110
(内線 705-586)

～インターネットバンキングの利用には注意～

企業の口座も
狙われています！

知らない間に口座からお金がなくなっている。。。

■ インターネットバンキングの普及と危険性

実際に銀行へ足を運ぶことなく利用できる「インターネットバンキング」は多くの方に利用されています。そうした中、数年前からコンピュータウイルス等によりインターネットバンキング利用者の ID、パスワードを盗み出し、正規利用権者になりすまして、不正にログインし、別の口座に送金するという犯罪が横行しています。

■ 被害の実態

昨年は、全国で1315件、約14億円、広島県内でも22件、総額約1600万円もの被害が発生しています。

今年に入っても、地方銀行での発生が増加するなど、全国で被害は拡大しており、広島県内では4月10日現在で、16件、総額約950万円もの被害が発生しています。

また、最近では、犯人が利用者のパソコンを乗っ取り、遠隔操作によって不正送金を行うという手口も見られ、もはや「電子証明書」のみ、「ワンタイムパスワード」のみといった1方法だけのセキュリティは通用しなくなってきています。また、最近になって法人の被害も増加しています。

被害に遭わないために！！

一つだけでなく
複数の対策を！

■ 各金融機関が推奨するセキュリティ対策を確実に導入する。

(導入されているセキュリティ方法は金融機関によって異なります！)

■ 機器式(トークン)によるワンタイムパスワードを利用する。

トークンの一例



■ 電子メール式のワンタイムパスワードを利用する場合は、ネットバンクを利用するものとは別の携帯電話やパソコンで受信するように設定する。

■ パソコンのOS、アプリケーション、ウイルス対策ソフトのバージョンは常に最新のものにしておく。(ウィンドウズXPはサポート切れとなったため、ウイルスに感染する確率も非常に高く、セキュリティ面において問題があるので、他のOSに移行する)

■ 不用意に不審なサイトにアクセスしない、発信元不明のメールを開かない。

■ ログイン時やパスワード入力時に通常と異なる画面が出た場合には、操作をやめ金融機関に確認の連絡を取る。